



田人の心



2021年 4月 23日 (金)

発行者 (文責)



校長 愛川 政 弘



本日は、授業参観、PTA 総会、学級懇談会等にご参加いただきありがとうございます。
学年が一つ進級した子ども達の様子をご覧いただきながらも、新型コロナウイルス感染拡大に負けない学校教育の推進に向け、忌憚のないご意見や、質問等をお寄せいただき、一つ一つ丁寧に対応させていただきながら、安心していただける学校づくりを推進して参りたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

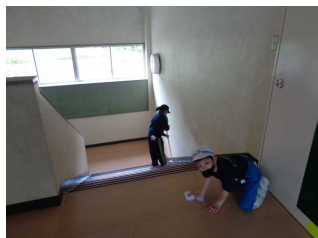
令和3年度 田人小中学校の挑戦



昨年度、子ども達や保護者の皆様、地域の方々の声を伺いながら、さらに良い学校づくりを進めるために、今年度改善したことや変更したことがいくつかございます。

内 容	令和2年度までの課題	令和3年度から
① 日課表の一部変更 	▲小中学校で休み時間や清掃の時間帯が違っており、小中学生が一緒に活動しづらかったり、スクールタクシー等の関係で朝の活動が制限されたり、子ども達が限られた時間の中で各々忙しく活動していた。	○小中縦割り班で一緒に活動 (清掃範囲縮小・SSS活用) ○給食後に昼休み設定 (活動時間にゆとり) (一緒に遊ぶ・活動する) ▲下校時刻が若干遅くなる ※清掃を優しく教え手伝う姿、一緒に遊ぶ姿、楽しそうに交流し活動と一緒にいる姿に
② 登校の仕方・通学路の一部変更	▲小中学生で通学路が違う ▲大型車の通行や法面の土砂崩れの危険性高まる 	○黒田方面から徒歩通学する班は市民運動場の中を抜けて登校。 ○中学生は小学生を可能な限り見守りながら登校。 ※優しく、さり気なく小学生を見守る中学生の姿に
③ 部活動の考え方 	▲一律でバドミントン部しか入れない ▲やりたい部活動がない (転校) ▲挑戦できるものが少ない ▲子ども達のニーズに対応する必要性増大	○中学生の団結力、体力向上策は継続。(全員入部) ○その他の得意な力を伸ばしたい子どもへの特設部設定 (挑戦できる学校へ →キャリア教育の一環)
④ 運動会と田人地区市民体育祭合同開催 <10月10日(日)>	▲ここ最近では実施できていない市民体育祭。人数を集める苦勞等 ▲子どもの人数減少=教職員減少 継続した運営が難しい	○子ども達の地域貢献 ○学校行事として教職員も参加 ○地域を支える人材育成 (キャリア教育の一環)

<p>⑤ 田人小学校創立 150周年 並びに 田人中学校創立 75周年記念式典 & 記念祭</p> <p><7月10日(土)></p>	<p>【これまでの経緯】</p> <p>□周年行事実行委員会を組織し、2年間準備作業を進めてきた。 ・例) 記念品づくり(コースター他)</p> <p>□全国にいる田人町に縁のある方々にも届く心をいろいろ策略</p>	<p>□前半：記念式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田人太鼓 ・映像視聴 ・挨拶 等 <p>□後半：記念祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年秋に行っていた文化祭を記念祭に移行し、子ども達の発表を発信 
<p>⑥ 1階に小学生教室 2階に中学生教室</p>	<p>▲小学生の高学年生の教室が2階にあることによる問題点あり</p> 	<p>○昇降口から低・中・高学年の順に教室を配置することで、下級生の面倒を見たり、交流したり活動促進</p>
<p>⑦ 米作りに挑戦</p>	<p>【これまでの経緯】</p> <p>□地域おこし協力隊とのコラボ</p> <p>□総合「たびと学」の学習の一環</p>	<p>○地域の方々のご協力をいただきながら「ブランド米作り」への挑戦(貝泊地区にて) (キャリア教育の一環)</p>
<p>⑧ いわき市役所との 連携授業</p>	<p>【これまでの経緯】</p> <p>□施設マネジメント課とのコラボにより、市内の公共施設の在り方や地域づくりについて考えるワークショップの提案あり</p>	<p>○中学校の総合の一環として、プログラムを活用しながら、田人地区の公共施設や町づくりについて考える機会にする (キャリア教育の一環)</p>



【小中学生での清掃活動】



【中学生が見守りながら登校】

4月の学校生活の様子



【(中) 対面式】



【(小) 交通安全教室】

<交通安全推進員委囑状交付>



【小1初めての給食】



【避難訓練(火災)】

学校では子ども達の明るい笑顔、そして新たなチャレンジがあふれています。コロナ禍に負けない、知恵と前向きな気持ちを生かしながら、一人一人の子ども達の可能性をさらに伸ばしていきたいと思っております。今後ご理解とご協力を。